



# 会報

## 特別寄稿

### 技術士稲門会からのご挨拶

技術士稲門会  
会長  
原田 敬美



#### ◆はじめに

技術士稲門会(早稲田大学)会長原田敬美(けいみ)です。日頃大学間連携でお世話になっておりますこと感謝申し上げます。技術士稲門会は、昨秋、創立 30 年を迎え、30 周年記念誌<sup>\*1</sup>を発行しました。[\(ネットでご笑覧いただけます\)](#)毎月 1 回幹事会を開催、見学会、勉強会、早慶戦のスポーツ観戦などの活動を継続しております。



(写真：30 周年記念誌表紙)

私の本職は建築デザイン、都市問題研究者です。学生時代ご縁があり 3 度海外留学しました。アメリカ 2 度、スウェーデンです。33 歳の時、変わった経歴ということで当時の東京の港区長のブレーンを仰せつかり、その後港区の政策をいくつか作ってお手伝いをしました。住宅政策、人口対策、超高層建築の規制・誘導、環境、都市開発などの分野です。2000 年、突然区長から後継者として区長選に出馬してほしいと要請があり、政治に関心がありませんとさんざんお断りしたのですが、選挙日程が近いこともありお引き受けすることになりました。建築家、技術士首長は全国的に珍しいと思います。その珍しさ故、日本初のユニークな政策をいくつか作りました。与えられた課題を一気呵成に解決し、一期で退任し、元の仕事に戻りました。

#### ◆日本技術士会での活動

日本技術士会では男女共同参画推進委員会の委員を仰せつかり、女性技術者、女性研究者を増やすための活動をしております。2021 年、技術士会を含め 110 の理系の学会の共同主催で女性研究者、技術者を増やす目的のシンポジウムの企画のお手伝いと進行役を仰せつかりました。私は小池東京都知事に祝辞をお願いし、参加者に海外事情を知っていただくスウェーデンとフィンランドの両国の大使を招聘し、北欧の女性社会参加の実態、背景など語っていただきました。また、ハーヴァード大学建築大学院長(女性)(600 人定員で半数が女子学生)、トルコのコジャエリ大学建築学部長(女性)(女子学生が 6 割)を招聘し、女子学生が多い実態

と背景を語っていただきました。ちなみにトルコは OECD 加盟国の中で女性研究者の割合は上位 9 位で、スウェーデン、フィンランド、アメリカよりも上位です。参加者の皆様も驚いたことと思います。

## ◆最近の技術分野の話題 ギリシャ・トルコ事情

### 1 バルカン地域の建築学会で発表

2024 年 10 月バルカン地域の建築学会大会がギリシャのテッサロニキ市で開催されました。私を含め周辺国 10 か国から 50 名の研究者が発表しました。主なテーマは防災、震災対策で、インテリア、建築、都市計画の観点からの発表がありました。私は東京の防災まちづくりについて発表しました。地元のアリストテレス大学(バルカン地域で最大の大学)が幹事でした。驚きは発表者の多くが女性でした。



(写真：参加者の集合写真)

日本ですと、建築、土木系の学会では圧倒的に男性が多いので真逆の風景です。一方、改めて考えると、男性ばかりという日本の風景が海外から見ると異常であると感じます。

### 2 イスタンブールの副都心アタシェヒル市長と面会

ギリシャからの帰路、イスタンブールに立寄りしました。私が発表した「東京の防災まちづくり」に関心を持って下さったトルコの教授(女性)が、「イスタンブールの副都心アタシェヒル市(東京の新宿区のような自治体)の市長は 44 歳で若く、原田さんの港区長としての都市開発の体験と東京の防災まち

づくりについて市長にレクチャーしてやってほしい。」と紹介され、市長を訪問しました。

市長室で市役所幹部を紹介され驚きました。副市長は若く、女性で、建築職です。おそらく日本の自治体にはこうした状況はないと思います。

超高層ビルが林立する自治体ですが、一方、周辺では問題を抱えた住宅地域があるとのこと。

私の体験が少しはお役に立てればという気持ちで市役所を後にしました。

3 年前のシンポジウムでフィンランド大使は「女性活躍を展開しないと日本は国際間競争に勝てません」と語っていました。



(写真：アタシェヒル市市長と幹部職員  
左から 2 番目が副市長、建築職)

皆さんと一緒に女性技術者を増やす活動をしてほしい。日本の技術が世界をリードできるよう活動しましょう。

### 3 日本とトルコ国交 100 周年、経済協力会議

今年は日本とトルコの国交 100 周年です。10 月日本の経団連会館でトルコの経団連と合同の国際会議が開催されました。トルコは中東地域の要の国です。ボスポラス海峡の地下トンネルや大橋は日本の施工会社が担当しました。私はたまたまトルコ側のアドバイザーを仰せつかり、トルコ側の立場で参加しました。

今後、中東、東欧、アフリカなどでインフラ整備が展開されると思われます。その際、トルコの経済界と技術者集団が核となり、日本の経済界と日本の技術者集団が応援部隊になると思われます。

トルコから経団連職員、企業幹部、技術者、弁護士、公認会計士などの専門家などが出席しました。ここでの驚きは、日本側から女性の参加者はほぼゼロ、トルコ側からは多くの女性幹部、弁護士など女性の専門職が参加されました。

日本国内の業務も重要ですが、京都大学技術士会会員の皆様がお持ちのノウハウをこうした国際協力にご貢献されることを期待申し上げます。

#### ◆むすびに

京都大学技術士会のご発展をお祈り申し上げます。今後も京都大学技術士会と早稲田大学技術士会(技術士稲門会)の相互の交流を深めることができればと念じております。

\*1 技術士稲門会 30 周年記念誌

[https://wasedape.sakura.ne.jp/files/202312\\_30thmemorial.pdf](https://wasedape.sakura.ne.jp/files/202312_30thmemorial.pdf)

#### 原田敬美

技術士稲門会会長、技術士(建設)

博士(工学)、一級建築士、元東京都港区長、  
国際建築アカデミー教授・評議員(ブルガリア)  
連絡先：SEC 計画事務所 電話 03-3403-2392、  
keimi@sec-architects.com



ホームカミングデー当日の時計台周辺

## ホームカミングデー行事開催

### (1) 第 31 回「技術士を目指そう」説明会

2024 年 11 月 2 日(土)、ホームカミングデーの午前 10 時から、京都大学吉田本部総合研究 8 号館講義室 2 において、京都大学技術士会 第 31 回「技術士を目指そう」説明会が開催され、社会人の方 1 名のオンライン参加がありました。

同会の上田泰史 幹事(工学研究科、1983 年修了、環境工学部門・総合技術監理部門)の司会進行の下、説明会が開始されました。

最初に佐伯賢一 副代表幹事(工学研究科・1994 年修了)から技術士制度の概要、資格の法的・社会的な位置づけ、求められる資質や能力、試験制度と受験資格についての説明がありました。

続いて「技術士による体験談」として、建設部門・総合技術監理部門の岩住知一 副代表幹事(工学研究科・1990 年修了)、森林部門・建設部門の仲矢順子 幹事(農学研究科・1994 年修了)の 2 名の先輩技術士により、それぞれの専門分野での個人的体験に基づいた説明が行われました。技術士所得までに至る経験、特に得意部門がどの部門か迷っている方に参考になる経験の披露があり、また技術士資格を取得することで信用度が高まり、社内外での交流・活躍、新たな分野への挑戦の機会が増えることなど、技術士資格取得の意義が紹介されました。

今回は 1 名の参加であり、本年 1 次試験を受験され、合格後来年 2 次試験を受験予定でどの分野にすべきか迷われているとの相談があり、志望部門の情報工学部門取得者である嶋田副代表幹事

(工学研究科 1980 年修了、情報工学部門・総合技術監理部門)からもアドバイスを受けて参考になったと思われます。



## (2) 役員総会

京都大学技術士会の役員総会を下記の議題で開催しました（会場参加者 18 名）。

- ・ 2023 年度活動報告・決算報告
- ・ 2024 年の活動予定・予算案（審議）
- ・ 2025 年度の体制についての報告、新幹事の紹介

## (3) 会員交流サロン

11 月 2 日（土）、第 19 回ホームカミングデーの 13 時 30 分から、総合研究 8 号館講義室 2 において、会員同士の情報交換をすることを目的に、京都大学技術士会第 2 回会員交流サロンが開催され、24 名の参加がありました。

以下の 5 名の本会会員から、現在のご活動に関連した話題を提供いただきました。

**綾木光弘氏**：2025 年大阪・関西万博への日本技術士会出展

**武藤光氏**：これまでの技術士活動の振り返り、今後の抱負

**坂井剛太郎氏**：日本技術士会国際委員長としての活動、国際制度との整合

**田岡直規氏**：CPD 登録認定制度、西日本技術士研究・業績発表年次大会の PR

**久保田正博氏**：電子部品会社エンジニアとしての仕事

その後は出席者間で活発な討議がなされ、有意義な情報交換の場となりました。

## (4) 第 19 回講演会

第 19 回講演会が 2024 年 11 月 2 日（土）、京都大学ホームカミングデー開催日に合わせて総合研究 8 号館講義室 2 で開催されました。今回は会場 33 名、オンライン 52 名の合計 85 名の参加がありました。

講演会に先立ち、大津宏康会長（工学研究科 1981 年修了）の開会挨拶に引き続き、樋口義弘副会長兼

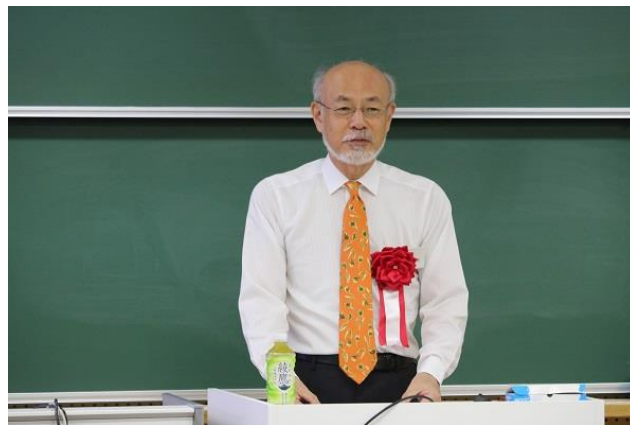
代表幹事（工学研究科 1984 年修了）から京都大学技術士会の紹介および 2013 年の設立以来の活動内容の説明がありました。

講演会は、花園大学 佐々木閑 特別教授様（京都大学工学部工業化学科卒業、同文学研究科博士課程 1987 年修了）から、『ブッダの教えと AI』の題目でご講演頂きました。

講演内容は、仏教の成り立ちから現在に及ぶまでの流れから始まり、ここ数年（あるいは数ヵ月）驚異的に進歩し人類史上最大の転換点の到来を示す領域まで達しつつある AI の考察に展開した。AI は「言語の獲得」「文字の使用」と並ぶほどの衝撃を我々にもたらしつつあり、私たちに大きな利便性と、そして一方で巨大な苦しみを与えることになりそうな状況だということです。AI 時代の真の意味を、ブッダの教えから読み解き、「自己の尊厳を奪われた時、私たちは何を拠り所として生きていくべきか」についての考察で締めくくり、我々もこれからさらに強くなる AI との関係をよく考え行動していかなければならないと考えさせられました。

最後に、綾木光弘参与（農学研究科 1980 年修了）から閉会挨拶があり、参加者全員で記念撮影し盛会のうちに終了しました。

その後、百周年時計台記念館 2 階の国際交流ホールにて懇親会を開催し、最後に「琵琶湖周航の歌」を歌い、講演会締めくくりとしました。



講演される佐々木特別教授

## 第 12 回 大会・特別講演会開催

2024 年 11 月 18 日に第 12 回大会・特別講演会が、東京丸の内の京都大学東京オフィスにて開催されました。また、その様子はオンラインでも配信され、会場での参加者とオンラインの参加者を合わせて約 230 名の申込みがありました。大会・特別講演会は年に 1 回、京都大学あるいは東京で開催されているもので、東京会場での開催は 2022 年以来 2 年ぶりとなりました。

第 12 回大会では、京都大学技術士会の大津宏康会長の開会挨拶の後、樋口義弘副会長から当技術士会の 1 年間の活動報告が行われました。



樋口代表幹事による活動報告の様様

引き続いて、特別講演会では日本電信電話株式会社取締役会長の澤田 純 様(京都大学工学部土木工学科卒)を講師にお招きし、『技術と社会』という演題でご講演をいただきました。

ご講演では、初めに京都哲学の西田幾多郎先生の「絶対矛盾的自己同一」の話から始まり、日本が抱える電力・エネルギーの現状の課題について解説され、その課題を解決してゲームチェンジャーとなり得る「IWON 構想」についてご説明いただきました。澤田様は、電子技術と光技術の融合(光電融合)による IWON によってもたらされる新しい社会シス

テムを提案され、その新しい社会システムにおいては、行為の主体である「われわれ」(Self as We)には哲学的思想が必要であるということを提唱されました。そして最後に、澤田様が設立に尽力された京都哲学研究所の活動についてもご紹介いただきました。また、講演後の質疑応答の時間では、会場とオンラインの参加者から多くの質問が寄せられ、澤田様は一つ一つの質問に丁寧にお答えいただきました。最後に新原雄二副代表幹事の閉会挨拶により第 12 回大会・特別講演会は閉会いたしました。



澤田 NTT 会長による講演の様様

## 親睦ゴルフコンペ開催

2024 年 10 月 20 日(日)にさいたまゴルフクラブにて、京都大学技術士会の関東地区幹事団 6 名による親睦ゴルフコンペを開催いたしました。関東地区幹事団で親睦ゴルフコンペを開催するのは今回が初めてで、今後は会員の皆様にもご参加いただき、親睦を深める機会にできればと考えております。



優勝者は岩住副代表幹事(左から二人目)

## 新会員自己紹介

高田 祐希



こんにちは、高田祐希と申します。2019 年に工学研究科社会基盤工学専攻を修了後、株式会社大林組に入社しました。入社後は、1 年間のダム現場における施工管理の後に、技術研究所にて盛土の補強技術の開発や液状化対策技術の評価といった業務に携わってきました。

建設業界においては準必須の資格であることや、自分の技術者としての姿を形に残す思いで勉強をし、2024 年に技術士（建設部門 土質及び基礎）を取得・登録しました。

技術士取得は通過点でしかありませんので、引き続き技術者として精進する所存です。

【2019 年工学研究科社会基盤工学専攻修了、建設部門、株式会社大林組】

橋本 宗明



2004 年に農学部を卒業した後、大学院を 1 年で中退し、地方公務員を 11 年務めた後、転職し現職の再開発コンサルタントで 9 年目になりました。現職の内容は、中心市街地などで行われる市街地再開発事業を統括する再開発コーディネーターになります。再開発事業に「学」との連携を取り入れるた

め、また大学院を中退した事に対する多少の後悔があり、最近では京都大学主催のシンポジウムなどにも顔を出しています。

学生時代は、軽音学部にも所属していました。西部講堂でのライブが良い思い出です。会員様との交流も深めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【2004 年農学部生物生産科学科卒、建設部門、株式会社ユーデーコンサルタンツ】

岡田 正広



はじめまして岡田正広と申します。工学研究科修了後に富士フイルム（株）にて機能性有機化合物の研究開発に従事しました。その後、1991 年弁理士登録、1994 年技術士登録（化学部門）し、1997 年に岡田正広特許事務所を開設しました。事務所開設当初から知財戦略コンサルティングに力を入れており、研究技術開発を含めた M O T と特許戦略とを常に念頭におきながら日々の仕事を行っています。

京都大学技術士会の存在をつい最近に知り入会させていただきました。今は工学研究科が桂に移転していますが、学生時代を過ごした百万遍界隈が懐かしいです。それと下宿していた一乗寺から修学院の辺りも。いろいろと宜しくお願い申し上げます。

【1983 年工学研究科合成化学専攻修了、化学部門、岡田正広特許事務所】





**大西 透**

はじめまして。大西と申します。(株)カネカに勤務しており、食品の新製品の企画、開発に従事しています。現在、神戸市に住んでいます。

11/2 の講演会に参加させて頂いたことがきっかけで入会させて頂きました。これからいろんな方々と交流できることを楽しみにしています。

趣味は、ゴルフと食べ歩きです。最近、飲み会続きと運動不足が重なり、お腹周りが順調に成長しています。そこで、好きなお酒を控えめにして、春先までにシェイプアップ(平たくいうとダイエットですが)したいと考えています。

宜しくお願い申し上げます。

【1992 年農学研究科食品工学専攻修了、総合技術監理部門・農業部門、株式会社カネカ】

**藤田 一作**

はじめまして、藤田 一作と申します。1999 年に大学院を修了後、三菱重工業に入社し、火力・原子力発電プラントのエンジニアとして 25 年間勤めております。趣味は野球観戦とテニスとカラオケです。2010 年に米国 PE(ワシントン州)、2014 年に機械部門の熱工学、2016 年に総合技術監理部門を取得しました。先日、日本技術士会の機械システム部会にて京都大学技術士会の存在を知り、入会しました。これからも持続可能な社会実現に貢献できるよう努めていきたいと考えています。宜しくお願いします。

【1999 年工学研究科化学工学専攻修了、総合技術監理部門・機械部門、三菱重工業株式会社】

**新幹事自己紹介****長澤 英治**

このたび幹事を務めさせて頂くことになりました長澤英治と申します。化学工学専攻環境プロセス工学講座(当時、前先生)に社会人博士課程で 2004~2007 年にお世話になりました。専門分野は化学プロセス、特にマイクロ化学プロセス技術ですが、最近は MOT に基づく新規事業創出支援、プラント・工場の設備管理 DX の具体化支援、そして技術者・研究者のキャリアアップ支援の仕事をしております。

現在、慶應技術士会の副会長を務めておりますが、ご縁のある京都大学技術士会においてもお役に立てればという思いから幹事を申し出ました。

趣味は、写真、キャンプなどのアウトドア、そしてキャンプから発展した料理です。

どうぞ宜しくお願い致します。

【2007 年工学研究科博士課程修了、化学部門、横河ソリューションサービス株式会社／長澤技術士事務所】



**濱田 利正**

縁あって、11 月から幹事として参加させていただくことになりました。技術士資格は 2009 年に電気電子（情報通信）で登録しました。専門は移動体通信で、学生時代には、無線機を車に積んで京都市内を走りまわったり、電波伝播の解析のため住宅地図を片手に建物の高さを調べたりしました。

会社でも、携帯電話のデジタル化や列車無線などの開発を行ってきました。

電気電子の技術士資格は仕事のうえで必須な場面は少ないですが、企業倫理が問われる事の多い昨今、技術士として倫理観を持って業務に携わる大切さを強く感じています。

大学の技術士会としてどのような活動ができるか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【1988 年工学部電子工学科卒 電気電子部門 三菱電機ソフトウェア（株）】

**佐藤 理**

産業技術総合研究所の佐藤理と申します。はじめまして。現在は三次元形状計測を専門としておりますが、京大時代は松久寛先生の元で振動制御を学んでおりました。とはいえ、研究室にいた時間よりも、弓道場にいた時間の方が長かったかもしれません。

2011 年に機械部門（機械設計）の技術士登録後、2013 年に京都大学技術士会の発足を知り、多くの分野の方とのご縁があればと思い、入会させていただきました。それ以来 10 年以上が経ち、この秋の幹事募集に応募させていただきました。

今後、幹事団の一員として皆様のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

【1999 年工学部物理工学科卒業、総合技術監理部門・機械部門、国立研究開発法人産業技術総合研究所】

**水田 潤一**

1997 年に、名誉会長でいらっしゃる大西先生の研究室に入り、会長でいらっしゃる大津先生にご指導を受け、2000 年に、修士課程をなんとか修了、関西電力に入社いたしました。その後は、国内外の水力発電所の建設や保守に携わって、現在は黒部川水力センターの所長として富山で働いています。2022 年の京都大学ホームカミングデーでのプレゼンをご縁に、本会にお声掛けいただき、幹事を仰せつかりました。富山という離れた土地からなのですが、少しでも京都大学技術士会に貢献すべく頑張りますので、皆様のご支援・ご指導のほどをよろしくお願いいたします。

【2000 年工学研究科修了、総合監理部門・建設部門、関西電力株式会社】





## 中山 敦喜



この度、京都大学技術士会の新幹事を拝命しました中山敦喜と申します。2007 年に理学研究科を修了後、総合電機メーカーで研究および評価試験機の設計に従事し、その後の転職を経て製品の機構設計を経験しました。

2022 年に機械部門の技術士資格を取得し、現在は三菱電機モビリティ株式会社で DX やカーボンニュートラル関連の企画業務に携わっています。

これまでの知見や経験を活かし、京都大学技術士会のさらなる発展に貢献するとともに、会員の皆様とも交流を深め自己研鑽を重ねていく所存です。精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【2007 年理学研究科修了、機械部門、三菱電機モビリティ株式会社】

## 会員の皆様へ

## 1. 入会・登録情報変更方法

[京都大学技術士会ホームページ](#)から必要な情報をお送りください。最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

## 2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

## 3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

## 4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、[ホームページ](#)からお願いします。

## 会員の自由投稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自由投稿を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

## 《自由投稿 執筆要領》

- ① 標題（概ね10文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に300文字程度）
- ③ 最終行【】内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真（JPEG形式）

## 《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

## 編集後記

地球温暖化のせいか、日本から「秋」という季節がなくなってきたようです。毎日「暑い、暑い」と思っていたら、突然寒くなってコートが必要になり、紅葉も見たのか見ていないのか、わからない状態。日本という国は四季があって、それぞれの季節に美しい草花や風景が楽しめていたのですが、それもいずれは遠いことになってしまうのでしょうか。

（今西 秀公 1993 年工学研究科修了、建設部門・総合技術監理部門、前田建設工業株式会社）